

# 黒い巫女の赤夜

〜其の貳〜



R18  
ADULT ONLY

# 黒巫女の变

く其の式く



## 前回までのあらすじ

欲求不満を抱える霊夢の前に現れたのは自らと同様の姿を持つもう一人の自分だった。

札を貼られた霊夢は、程なくして感覚を共有するようになってしまう。知らぬ場所で性交渉を始めた黒い霊夢はその感覚が霊夢にも流れ込み、同様のタイミングで絶頂に達してしまった。



…あれから

よく  
夢を見る

見るのは  
決まって私の  
偽者の夢だった

以前のよう  
な感覚の共有は  
もう無い

淫夢<sup>あくび</sup>はまだ  
続いている

どことも判らぬ  
闇の中

夢の中の彼女が

こちらを見て  
笑ったような  
気がした





私がその気になつたら



あー腹立つ！  
絶対あいつを  
どっ捕まえてやるん  
だから！



あんなにか  
すぐに見つけ出して



化けの…



化けの皮を  
剥がしてやる！



…



皮を…



つかれたあー！…

あー



今日はもう  
無理だわ  
明日また…



ホントどこにいるのよ…  
こんなに探しても  
見つからないなんて…

皆知らぬ存ぜぬの  
一点張り…



ここは…何処？  
里の近くの森？



な…なんで…  
最近夢だけで  
感覚なんてなかった  
のに…



ってまさか…  
顔見知りと逢引なんて  
冗談じゃないわよ！



んんん  
キエウクク



んんん  
んんん  
んんん



この子…知ってる  
確か葉屋の息子だわ…

判…判って  
来たんじやないの？

話…話して  
何…何しよう？

あ…あ  
あ…あ

あ…あ





はあッ



ええもちろん

あんかかわいい顔してるしね



れ：霊夢さんほんとに：僕でいいんですか？



こんな淫乱な巫女が相手によかつたかしら？

…すっごく大きい…♡



うん？



そっちこそ





こんな私でも  
好きって言うて  
くれる？

淫らな行為に  
進んで身を任せる



仮にも神に  
仕える身で



私はそんな  
女じゃない！

やめて！



私はそんな  
淫乱女じゃ  
ない……



進んで身を  
任せてるのは  
あんたであつて  
私じゃない！



うふっ…  
かっこいい事言っても  
ここはパンパンじゃない  
やっぱり期待してた？

そ、それは  
ずっと触られてたら  
誰でもそうなりますよ…っ

あっ

ん♡

ん♡

ツェホ

ん♡

ね？

キエ♡  
ん♡

あっ！

ごめんごめん  
そりやそうよね  
ちやんと責任とって  
あげるから





全身が性感帯に  
なってるみたい……!



なんでだろう…  
前と同じ状況のはず  
なのに嫌じゃない…



霊夢さん…

んっ♡  
んっ♡  
んっ♡



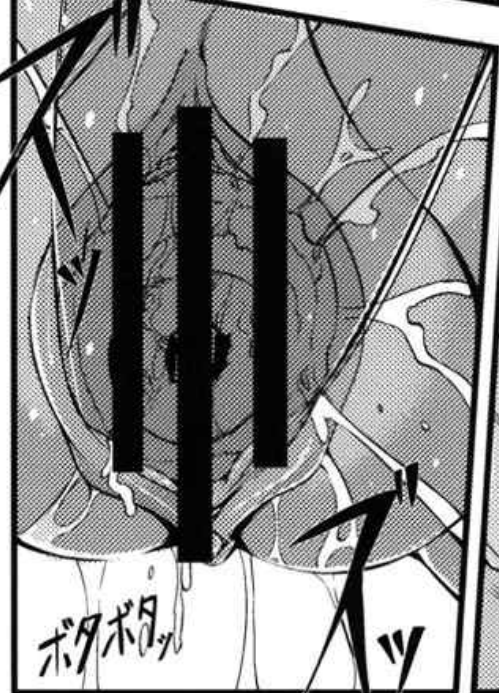
ね…ほら  
準備できてるから…



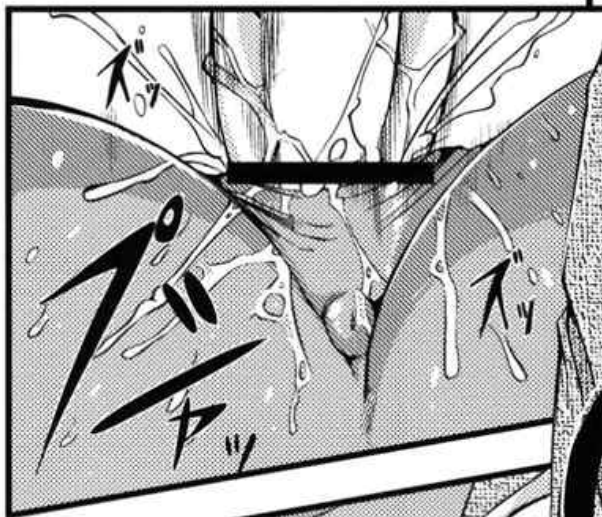
ん…そのまま  
きてえ…



んっ♡  
んっ♡  
んっ♡



そのまま  
突いてえっ!









ん…



ねえ、お願い  
前向かせて

え？  
あ、はい…



霊夢さん…



もっとお！

もつと奥まで  
ち○ぽつつこんでえ！

すごいっつ  
奥まで来てるう！



はっ  
あんたのが一番  
気持ちいいのおっ!

はっ  
おま○こすごい  
気持ちいいっ!



んっ...



んっふっ...

ん...



はっ  
でっ  
射精るっ

ガクガク  
また  
射精ちやいますっ





ああああ、射精る！  
射精ちやつてる！

いくつ  
イつちやうううう！



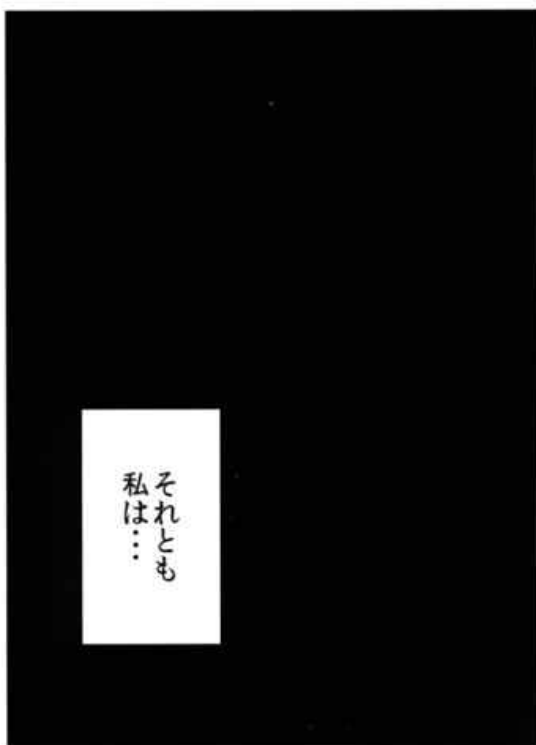
んっ…



…ねえ、また  
会いましょう？  
1週間後同じ場所で…



ドクッ



# 黒巫女の變

く其の参く

へ、  
続く。

ページが余ったため  
落描きなど…。



# 後書き

どもこんにちは初めまして。kojouです。  
本来後書きは最終巻に書こうと思っていたのですが、  
ページが2P余ってしまったのでみっともなくも  
ページ稼ぎに走った次第であります。

もどもどこの「黒巫女の変」は褐色成分の乏しい東方界限で  
どうにかして褐色キャラを描けないかという想いから  
頭を捻って生まれた作品であります。  
全三巻となっておりますのでよろしければお付き合いくださいませ。

完全に独りよがりかつ自己満足の塊ですが  
残り一卷、お楽しみいただければ幸いです。

それではそろそろ紙面も尽きました。  
皆様最終巻でお会いしましょう。

kojouでした。



黒巫女の変～其の貳～

作者:kojou

発行元:JUNK×JUNK

発行日:2013/5/26

印刷:くりえい社

ブログ始めました。「ユメノシマセカンド」

<http://yumenoshima2.blog.fc2.com/>

E-mail:kojou\_00@yahoo.co.jp

**禁無断転載**

**Presented by**  
**JUNK × JUNK**